

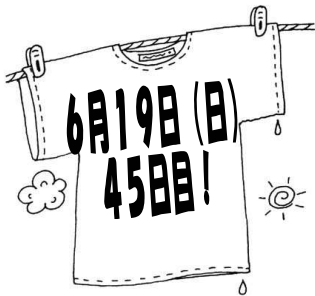
水島平和委員会ニュース

～原水爆禁止2005年国民平和大行進特集～

NO. 18

2005/6/24 水島平和委員会

45日間、600kmを超える!!!

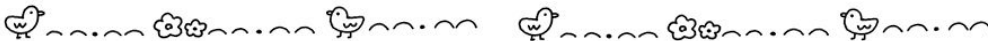


晴れ時々曇り 31309 歩 1089.2Kcal
午前 9:00～ 野洲市役所前 出発集会 9:20～ 出発
野洲市役所→守山市役所→大宝神社→栗東市役所(昼食)→
JR 草津高架→草津市役所 15:40 到着
参加者 午前 38 名 午後 49 名 15.6 km



今日で行進の半分の日程が終わった。歩いた距離も 600 km を超えた。短いような早いような感覚だ。以前より周囲がよく見えるためか良い事や悪い事が良く分かる。学ぶ事が多い。学んだ全てが活用出来るとは思えないが、今後の行動に沢山のエッセンスを加える事が出来ると思う。

今日は閉庁日にも関わらず、市の職員が出迎えてくれ庁舎のロビーなどを開放してくれた。出発の野洲市は合併により町から市になったが、挨拶の中に“新しくなった市でも非核平和都市宣言の準備をしている・・・”との発言があった。守山市役所では議長が出迎えてくれ、市長のメッセージを代読した。栗東市役所では議長・副議長が出迎えてくれ、副議長と一緒に進行した。滋賀県では自治体の取り組みが進んでいるのを日々感じさせられる。なぜこのように進んでいるのか知りたいが・・・。(困)



晴れ 29890 歩 1019.5Kcal
午前 9:00～ 草津市役所前 出発集会 午前 9:15～ 出発
草津市役所→狼川町会館→ミニコープ瀬田→滋賀県青年会館(昼食)→膳所神社
→滋賀県庁 15:25 到着
参加者 午前 35 名 午後 52 名 14.4 km



今日の出発集会では草津市役所の市長のメッセージには“一日も早く核を根絶する必要がある”とあり、堀副議長は“3月に平和予算を決議した。草津には被爆者や学徒動員で死亡した人も沢山いる。もう被爆70周年はない。平和を今一度、考え直す時だと思う。”と力強く挨拶をした。何回も滋賀県には驚かされる。この自治体は凄いつ！の一言だ。



昼の到着地点では、行進のまとめを行い、二日目の高島市の報告を、通し行進者の後藤さんが行った。高島の行進は20名不足だったが、市の出迎えに100名以上の職員に驚かされ、議会中の議員が全員出てきた。「市町村合併し行進内容が寺を回って激励金と鐘を突くなどの申し入れをしてきた」と報告があった。

昼食を取り、休憩中にもう一つの行進が集会を行い出発した。午前中に青年会館で原水禁が総会を行い、昼からの行進

(裏へつづく...)

に入ったのだ。時間差で3つの行進が出発したことになる。こちら側の参加者が間違えて歩いて行ってしまった…。各団体の若い参加者は分裂した経過や構成組織などは分からないだろう。それは仕方ないと思った。団体は若い人にそこまで話しをして参加させてないのだから…。少し離れてピースリレーも出発した。膳所神社で入れ違いになった。ピースリレーは私たちを出迎えてから出発した。膳所神社では民医連の医師や看護師さんが出迎えてお茶の接待をしてくれて行進に参加した。このような出迎えを受ける度に平和行進は地元で強く支えられている事が良く分かる。

話しは変わるが、毎日のニュースで小泉を見るたびに『この男は何を考えとんじゃっ！にへら笑いすんな！ぞぞけが立つんじゃっ！ぼっけえ気持ち悪いんじゃ！国民の声をちゃんと聞けんのかっ！おおあんごうっ！アメリカの金魚の糞っ！』（岡山弁で失礼）って思うのは私だけかしら・・・？イライラするのは牛乳の飲みが少ない・・・？



曇りのち晴れ 32512歩 1109.5Kcal
 午前 9:00~ 大津市役所前 出発集会 9:20~ 出発
 大津市役所→三井寺→県庁→逢坂山高速高架→ラクト山科公園(京都への引継ぎ) ラクト山科公園→粟田神社→京都市役所 15:45 到着
 参加者 京都延べ 600名 17.8km

今日は滋賀県の最終日だ。大津市役所ではピースリレーと一緒に出発集会を行い出発した。出発して間もなく三井寺に立ち寄って、僧侶から“平和祈願をしているが周りから変な寺と言われたこともある。(中略)このような運動をしなければならない事が不幸である。知らない顔をしていると、直ぐ傍に火の粉が迫ってくる。世界の状況を見ると悲しい事である…。etc”と言葉を貰う。この後、「三井晩鐘」を打たせて貰う。この鐘は一番音色が美しい鐘と言われ平和の鐘とも言われている。大きな鐘で比例して大きな音がする。すぐ真横で聞いた音は美しいかは分からなかったが参加者から拍手が起きていた。



行進を開始し滋賀県庁に立ち寄り県から「継続は力なり」と挨拶がある。逢坂山を越え、京都に入る。そして滋賀県から京都に引き継がれた。集会には京都の被爆者が2名参加され、今年の9月に亡くなった方の話をされた。認定申請をしても亡くなってから理由もなしに却下された話しをされた。日本政府の冷たい対応がハッキリ現れた。悔しい思いだ。

京都府内の通し行進者は4名だ。何年も続けている経験豊富な行進者ばかりだ。八坂神社の前を通



過し四条河原町を通り京都市役所まで行進した。ピースリレーも含め、延べ600名の参加者で京都の街に大きくアピールすることが出来た。観光客も多く、反応もバラつきがあったが、外国の方の方が反応が良かったのには日本人として少し恥ずかしい気もした。京都は原爆を落とす標的になっていた所でもある。これからの行進が楽しみだ。行進地が変わり、「日記を見てます」と言われると恥ずかしい様な気がする…。(照)